



若桜町農建受第52号
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

若桜町長



道路特定財源の見直しに関する中期的な計画の
作成にあたっての意見

道路特定財源制度については、これまでから議論がなされて来ております。なぜかと言うと、この多くの巨額の税収を一般財源化して、他に使おうと言うことだと思えます。

今、高速道路の問題が種々検討されておりますが、鳥取県のように高速道路が遅れている県もございすが、私はまだまだ道路網の整備は必要だと考えています。特に山村の若桜町に住んでいると、つくづく道路整備の事を考えずにはられません。

今、若桜町では、人口20万人の鳥取市への転出が目立っております。鳥取市への通勤ラッシュに時間を要することと、冬期間の積雪等で交通渋滞により転出を余儀なくされている現状であります。

これでは、いつまでたっても山村と都市との格差は解消されない。既設の国道の整備、姫鳥線開通により、国道29号には接続する河原インター線の整備、また鳥取県東部の観光資源である国定公園氷ノ山までのバイパスの早期完成、さらには交付金事業による町道等の整備、橋梁等の耐用年数も期限が来始めており、今後地方の道路整備は、相当の財源を必要とする。

「21世紀の国土のグランドデザイン」が目指す多軸型国土構造への転換による国土の均衡ある発展と社会基盤整備水準の格差是正を図る観点からもまた、美しく暮らしやすい国土形成を図るうえからも、財政基盤の低い地方には、適切な財政措置が必要である。

特に、公共交通機関の脆弱な地方にとっては、道路交通に依存する割合は極めて高く、高規格幹線道路を基軸とした道路ネットワークの整備は喫緊の課題であるため、今後とも地方における道路整備

の実状等を認識して、これまでどおり、道路特定財源の安定的な確保と充実に努めるべきである。

特に地方については、一般財源化をすれば、現行の地方道路整備臨時交付金のシステムが失われ、地方道路の安定した整備が担保されない。

さらに、一般財源化の意図は、もっぱら財政健全化のための一般会計の増収にあります。財政健全化には、経済全体として対処、負担すべき事柄であり、道路利用者に特に負担を課すことは、税制の基本原則である公平性の要件に反すると思います。

今後の道路施策や道路の整備・管理について

※重点化を進める上で重視すること。

「道路利用者へ最新の道路情報の提供」

背景・課題

- 高速道路、一般道においては情報がドライバーに伝わりにくい。
- 県境を境に他県の情報が伝わりにくい。
- 電光掲示板の設置箇所～次の設置箇所まで行かないと判からない。
- ・ ○緊急時におけるドライバーへの伝達方法の確立

施策のポイント・効果

- 通行規制開始・解除の見通し情報の確保
- 安全・安心な走行の確保。
- 停滞による経済的損失防止。
- ナビゲートの活用

※効率化を徹底的に進める上で重視すること。

「走行時間短縮(道路の拡幅・曲線改良、勾配修正)」

背景・課題

- 急カーブ、急勾配、幅員の狭い道路のため走行距離・長時間運転となっている。

施策のポイント・効果

- 安全・安心な走行の確保

※その他、道路施策や道路の整備・管理全般に関する意見

「自動車に優しい道路管理」

背景・課題

- 高速道路、一般道路とも「冬場における安全・安心な走行確保のため凍結防止剤を必要以上に散布している。
- 凍結防止剤により、自動車の腐食が進み安全性に問題が生じている。

施策ポイント・効果

- 道路温度を測ることにより、必要な場所に必要量の凍結防止剤を散布する。
- 経費節減に繋がる